

ユニオンファンド 月次レポート

第196号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2025年3月6日作成

MONTHLY TOPIC

山登りと株式投資

天気予報と株価予想の似ている点、違う点については何度か書いたことがあります。今回は山登りの話です。

■似ている点の第一は、「やってみなければ味わえない」ことです。

富士山は見るだけで幸せな気分になります。すごい山だと思います。でも、登ってみれば、もっと楽しめるに違いありません。中二の夏に登った西駒ヶ岳（通称「西駒」。標高 2,956m）でさえそうでした。下界とは全く違う景色に感動したものです。満天の星空も、平地ではまずお目にかかれぬ実に見事な美しさでした。株式投資では、他人が作った財産を眺めて羨ましがっても意味がありません。自分でやって初めて自分の財産になります。

■第二は、「途中は苦しい」ところです。

体力があり余っていた中学時代の私にとって、西駒登山はさほど苦痛ではなかったものの、楽勝というわけにもいきませんでした。それなりの急傾斜もありますし、石がゴロゴロとした登山道は歩きにくいし日は照ってくるしで、汗をかきかき登ったものです。体調を崩すほどではなかったものの、結構しんどそうな同級生もいました。やり慣れないことをすれば、やはりそれなりにきついものです。株式投資もそうで、慣れるまではつらいことの方が多いかもしれません。

■似ている点の三つ目は、「知らぬ間に随分高くまで来る」ことです。

足元ばかり見て歩いていると気がつきませんが、ふと振り返ると街並みははるか下。スタート地点さえ見えないほどです。株式投資も、やっている途中は増えた気がしないものですが、5年前、10年前、20年前と比べた時、その差に驚くことは多いです。時々言っていますが、私が会社に入った1981年4月1日の日経平均株価は7,389円、米国のダウ平均株価は1,014ドルでした（ちなみに1ドルは212円）。それが今では4万前後です。

■四つ目は、「急ぐと危険」であることです。

山登りで走ったり急いだりは厳禁です。体力を消耗しますし、足を踏み外して滑落などということもありえます。一歩ずつ、休みながらでもいいので、前を向いて歩き続けることです。天気が悪いときには無理をしないことも大事です。投資も同じで、短期間で儲けようとすれば危険は増します。長く続く下げ相場では、誰がどうもがいても損しますから、一休みするのもありでしょう。

■最後に、山登りと株式投資の違い

登り終えた後は、山頂で暮らすのでない限り、山から降りて来なくてはなりません。株式投資は続けることが可能です。それによって、より大きな財産を作ることができます。また、山の標高はそうそう変化しませんが、株価は時間がたつと企業の成長とともに上昇していくのが普通です。高くなった分を必要な時に少しずつ削って何かに使う、ということもできるようになるでしょう。そうなるまで、地道に着実に投資を続けたいものです。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2025年2月末現在)

基準価額	
38,436 円	
純資産総額	
140 億 45 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	-2.34%
1 年	3.10%
3 年	33.12%
5 年	60.59%
10 年	75.24%
設定来	284.36%

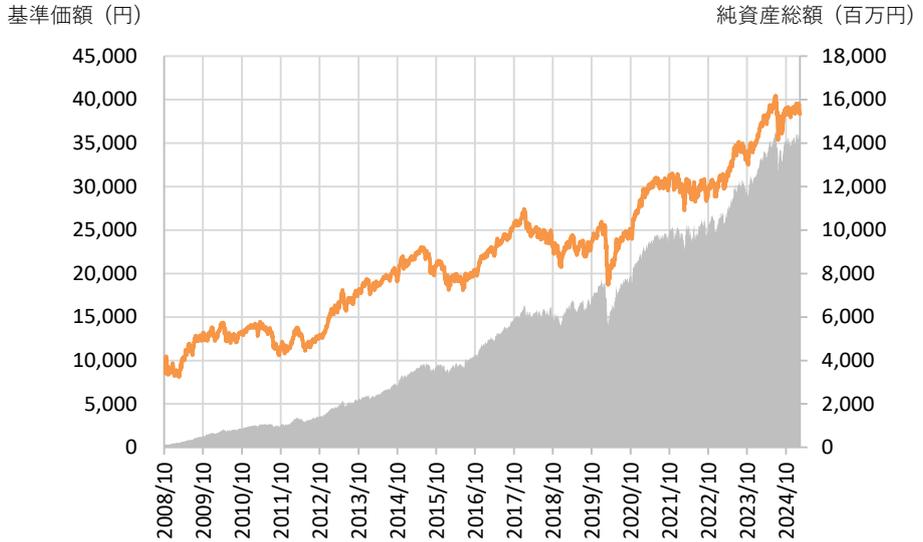
複利年率(%)	
8.57%	

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

* 設定来、分配の実績はありません。

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)

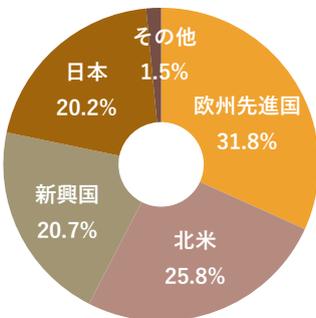


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.6%	-2.5%
スパークス F	日本	12.1%	-3.7%
キャピタル F	欧米	20.0%	-3.9%
ハリス F	欧米	19.9%	-1.8%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.1%	-1.2%
コムジェスト・エマージング F	新興国	17.9%	-2.5%
現金等	-	13.5%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2025年1月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2025年2月の市場動向と運用状況

投資環境

2月の世界の株式市場は全般に軟調でした。ただ、欧州株は、これまで米国株に比べて動きが悪く、PERなどから見てそもそも割安とされてきたこと、ロシア・ウクライナ戦争の停戦に向けた機運が高まったこと、ドイツの総選挙後の財政改革に対する楽観論が広がったこと、などが追い風となり、堅調に推移しました。ECB（欧州中央銀行）が金融緩和を継続すると予想されたこともプラスに働きました。

米国株は、自国第一主義を打ち出しているトランプ政権への期待や減税、規制緩和政策を受けて、当初は堅調に推移しました。主要株価指標の一つであるS&P500指数が一時高値を更新する場面もありましたが、月末にかけて失速し、若干の下落で終わりました。関税引き上げや移民送還による人手不足から来る賃上げ圧力などがインフレを再燃させるのではないかと懸念も広がり、次第に熱気が失せてきたと見られます。足元のインフレ動向を見極めるため、FRB（連邦準備制度理事会）は利下げを先送りするとの見方が優勢となったこともマイナスでした。

日本株は、日銀の利上げ継続姿勢を背景に円高が進んだことや、米国のハイテクセクターの軟調などを嫌気し、下落しました。新興国株は、米国の長期金利の低下が若干追い風となり、欧州株に次ぐ上昇となりました。

運用の状況

ユニオンファンドは値下がりしましたが、多めに保有している欧州株の健闘で市場の動きは上回りました。売買は見送りました。月末の組入比率は86.5%と、前月からごくわずかですが低下しました。

今後の見通し

米国株は、景気指標の相次ぐ悪化が響き、このところ弱含みの推移となっています。ただ、消費の軟調は、ロサンゼルス市での山火事や寒波といった一時的要因に強く影響された面があります。消費をけん引している富裕層の懐具合は、株式など資産価格の上昇もあって良好です。雇用情勢はひっ迫感が薄れ、むしろ健全な状態と思われます。景気の先行きに関する悲観はやや行き過ぎに見えます。投資家心理を示すいくつかの指標からは、株式市場ですでに弱気がかかり広がっていることがうかがえます。株価は依然として割高圏にあるものの、一方で景気減速感の高まりから追加利下げ観測が広がっていることもあり、売られ過ぎ状態から立ち直る可能性もありそうです。とは言うものの、トランプ政権の関税引き上げがもたらす悪影響への警戒感はさらに強まることも考えられます。物価を押し上げるほど広範囲で大幅な引き上げになるかどうかや、相手国から報復措置がどの程度強まるかなど、引き続き要注意です。

欧州では、企業業績の見通しが改善しつつあることはプラスですが、マクロ経済の軟調は続いています。回復に持続性があるのか、それとも割安局面からの反発にとどまるのか、今しばらく見守る必要がありそうです。ロシアと交戦中のウクライナに対する米国の支援が後退すると見られるため、欧州は防衛費を増加させる方向ですが、これが財政赤字を拡大させることも要注意点です。欧州の長期金利は、米国とは反対に上昇傾向にあります。

トランプ大統領の再登板以降、不確定要素が増え、過去の延長線上で先行きを考えることが一層困難になってきました。当面、大きな価格変動が起りやすいと見られますので、振り回されないよう注意が必要と考えています。

運用責任者 久保田徹郎

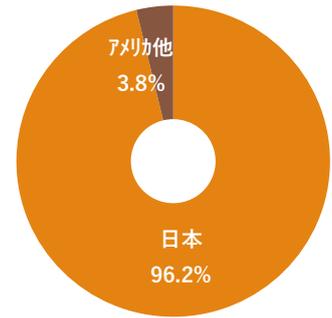
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



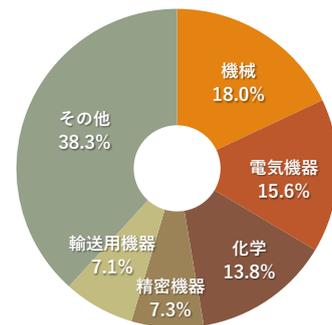
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	3.6%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	3.6%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 テルモ	3.1%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 プリチストン	2.9%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
6 アサヒグループHD	2.6%	日本	食料品	大手酒類・飲料メーカー
7 ダイキン工業	2.6%	日本	機械	エアコン世界大手
8 セブン&アイHD	2.5%	日本	小売業	大手総合小売業
9 INPEX	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
10 花王	2.4%	日本	化学	トイ列一位
上位10銘柄	28.3%		現金等	10.6%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2025年2月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



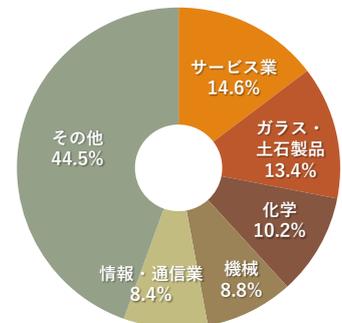
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
上村工業		日本	化学	メッキ用化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スーター
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
ペイカレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金融持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
共立メンテナンス		日本	サービス業	寮事業・ホテル事業
現金等				5.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2025年1月末現在 >

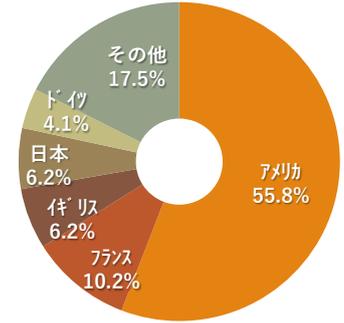
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



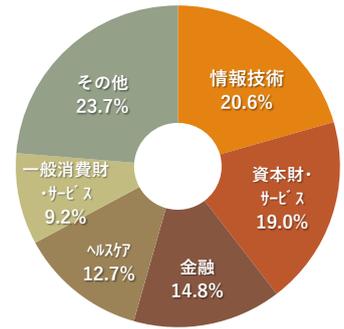
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Broadcom	3.3%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
2 Alphabet	3.0%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
3 Microsoft	2.9%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Apple	2.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
5 TSMC	2.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 Safran	2.1%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 Novo Nordisk	2.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
8 JPMorgan Chase	2.0%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
9 SAP	1.8%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
10 General Electric	1.6%	アメリカ	資本財・サービス	航空機エンジン
上位10銘柄	23.4%		現金等	4.1%

業種別構成比



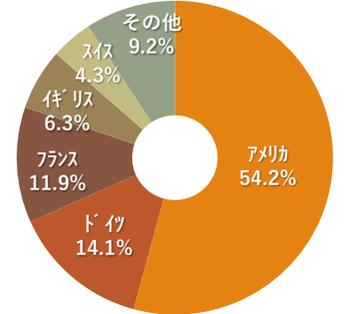
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年1月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	3.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 KERING	3.5%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
3 ALPHABET	3.3%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
4 BAYER	3.3%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
5 MERCEDES-BENZ	3.3%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 IQVIA	3.2%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
7 CNH INDUSTRIAL	3.1%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー
8 CHARLES SCHWAB	3.0%	アメリカ	金融サービス	資産運用、証券仲介、銀行業務等
9 INTERCONTINENTAL EXCHANGE	2.8%	アメリカ	金融サービス	金融取引所の大手運営会社
10 AIG	2.7%	アメリカ	保険	総合保険大手
上位10銘柄	32.1%		現金等	4.5%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年1月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	5.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 ESSILORLUXOTTICA	4.9%	フランス	ヘルスケア	光学製品
3 NOVO NORDISK	4.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界大手
4 ALCON	4.8%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
5 SCHNEIDER ELECTRIC	4.7%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
6 AIR LIQUIDE	4.4%	フランス	素材	産業ガス世界大手
7 DASSAULT SYSTEMES	3.8%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
8 RELX	3.7%	イギリス	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
9 EXPERIAN	3.4%	イギリス	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
10 L'OREAL	3.3%	フランス	生活必需品	化粧品世界最大手
上位10銘柄	43.8%	現金等	3.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



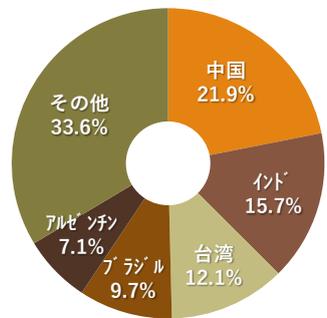
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年2月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



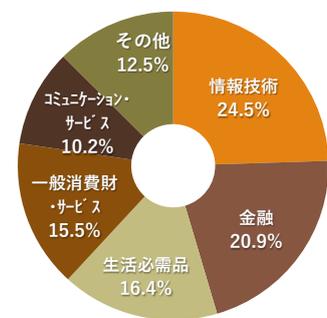
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	7.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	6.9%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	5.0%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 DISCOVERY	3.8%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
5 DELTA ELECTRONICS	3.8%	台湾	情報技術	電源、変圧器
6 ASML	3.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 WEG	3.3%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
8 MIDEA	3.2%	中国	一般消費財・サービス	家電の製造販売
9 Wal Mart de Mexico	3.1%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
10 FOMENTO ECONOMICO	3.0%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
上位10銘柄	43.6%	現金等	3.7%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年2月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご住所の変更をされるお客様へ

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、書面にて各種変更届をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される方は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話または弊社ホームページの「お取引について」 > 「登録情報変更用紙請求」より届出用紙をご請求ください。

お届け出にあたっては、**新住所が証明できるご本人確認書類※をあわせてご提出ください。**

※ご本人確認書類の詳細は、変更用紙をお送りする際のご案内に記載しております。

【ご注意ください】

- ・ 新住所をお届けいただくまでの間、各種報告書等は旧住所への送付となります。そのためお客様の郵便事情によっては弊社からの郵便物が届かなくなる場合もございますので、変更のお手続きはお早めにお済ませください。
- ・ 法令の定めにより、新住所のお届け出がない場合、原則として、ファンドの解約代金等をお支払いすることができません。
- ・ 海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なります。**必ず出国される前に弊社までお電話ください。**（出国後ではお手続きいただけないものもあります。）

お客様コード（口座番号）について

「お客様コード（口座番号）」とは、弊社に口座をお持ちのお客様がお取引等いただく際に、お客様を特定させていただくための番号です。

口座開設された際に弊社より郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ **各種報告書や月次レポート郵送時の宛名の下に印字されている記号や番号は、お客様コードではありません。**

※ 「お客様コード（口座番号）」がご不明な場合には、「お客さま控え」を再発行しお送りいたしますので、ご希望の際は弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までご連絡ください。（メールやお電話ではお答えしていません。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。